2026年　大原簿記情報医療専門学校浜松校

実務経験のある教員による授業科目一覧

2年制 DXソリューション科

ID	授業科目	授業形態	年次	時期	単位数	実務家	教員名	経験	授業目的	授業概要
1010	上級商簿会計Ⅰ	講義	1	前期	5	実務経験あり	松永年史	会計事務所での実地研修経験	会計基準や会社法、財務諸表等規則などの企業会計に関する法規を踏まえて、経営管理や経営分析ができる能力を最短で身に付ける。	企業会計に関する諸規則や法規を裏付けに日商簿記1級および全経簿記上級の最短合格のための学習をします。中級までの学習内容についてハイレベルの習熟度を要する。
1010	上級商簿会計Ⅰ	講義	1	前期	5	実務経験あり	松永年史	会計事務所での実地研修経験	会計基準や会社法、財務諸表等規則などの企業会計に関する法規を踏まえて、経営管理や経営分析ができる能力を最短で身に付ける。	業会計に関する諸規則や法規を裏付けに日商簿記1級および全経簿記上級の最短合格のための学習をします。中級までの学習内容についてハイレベルの習熟度を要する。
1020	上級簿記演習	演習	1	前期	2	実務経験あり	岡井俊文	医療機関での医療事務実地研修経験	簿記の学習を通して、「ヒト・モノ・カネ」に関する記録の技術を学び、経済の仕組みや動きの理解等の社会人としての基礎を身に付ける。	上級工簿原計Ⅰで学習した内容を前提に、本試験形式の問題を使用して問題の解答に取り組み、解説で内容の定着を図る。
2000	PC入門	講義	1	前期	1	実務経験あり	大野圭一郎	パソコン機器の営業・販売経験及びSier企業による研修	企業実務に正確かつ迅速に対応できるよう、表計算ソフトの基本的な操作スキルを習得する。	ビジネスアプリケーションソフトを中心にオペレーティングおよび表計算技術を習得する。
2002	PC対策Ⅰ(表計算)	講義	1	前期	2	実務経験あり	大野圭一郎	パソコン機器の営業・販売経験及びSier企業による研修	表計算ソフトを用いてビジネス社会における簡単なワークシートの作成とデータの入力を行うとともに、表計算、ビジネス図表に関する応用的な技能を向上させる。	ビジネスアプリケーションソフトを中心にオペレーティングおよび表計算技術を習得する。
2003	PC対策Ⅱ(表計算)	講義	1	前期	2	実務経験あり	大野圭一郎	パソコン機器の営業・販売経験及びSier企業による研修	表計算ソフトを用いて効率的なデータ入力、集計、グラフ作成ができる能力を身に付けるとともに、表計算、ビジネス図表に関する高度な技能を向上させる。	Excelのピボットテーブルなどの高度な機能の活用や、関数を組み合わせた数式、複合グラフの作成やマクロの活用などを駆使した効率的なデータ入力や集計、分析技法を習得する。
2010	プレゼンテーション理論	講義	2	後期	2	実務経験あり	大野圭一郎	パソコン機器の営業・販売経験及びSier企業による研修	ビジネスシーンを想定したプレゼンテーションの目的を理解し、実践的な技能を活用して効果的なプレゼンテーションを作成できる能力を養う。	ビジネスの目的に応じて、スライドマスタやアニメーション、マルチメディア機能などを活用し、効果的なプレゼンテーション資料を作成するための知識と技能を身につける。
2210	就職対策Ⅰ(DX)	講義	1	前期	1	実務経験あり	大野圭一郎	パソコン機器の営業・販売経験及びSier企業による研修	学生にとっての幸せな就職を実現させることを最終目的とし、そのために必要な基本的就職支援を行うこと。	就職後に必要となる基本的なIT活用力や海外行動力を高めるための講義を行うとともに、グループワークを取り入れたコミュニケーション能力向上を目指す。
2211	就職対策Ⅱ（DX）	講義	1	後期	4	実務経験あり	大野圭一郎	パソコン機器の営業・販売経験及びSier企業による研修	就職活動を円滑にかつ効率的に進めることを目的とする。また人生設計の礎をしっかり根付かせることで、自分で考え、行動し、決断できる学生の育成を目指す。	将来の職業意識を高め、就職試験対策として必要な基礎知識習得や自己分析等の受験準備指導を、集団形式・個別形式を交えて行う。

2212	就職対策Ⅲ（DX）	講義	2	前期	2	実務経験あり	大野圭一郎	パソコン機器の営業・販売経験及びSier企業による研修	就職活動を円滑にかつ効率的に進めることを目的とする。また人生設計の礎をしっかり根付かせることで、自分で考え、行動し、決断できる学生の育成を目指す。	将来の職業意識を高め、就職試験対策として必要な基礎知識習得や自己分析等の受験準備指導を、集団形式・個別形式を交えて行う。
4001	情報処理Ⅰ	講義	1	前期	1	実務経験あり	大野圭一郎	パソコン機器の営業・販売経験及びSier企業による研修	高度ＩＴ社会に対応したＩＴ基礎力の養成を目的とする。	２進数やコンピュータの構造を理解し、情報処理に関する基礎知識を学習する。
4002	情報処理Ⅱ	講義	1	後期	6	実務経験あり	大野圭一郎	パソコン機器の営業・販売経験及びSier企業による研修	ＩＴ基礎で学んだ知識を基に、高度なプログラミング技術と情報化社会に対応する各種法制度の知識を習得し、高度ＩＴ社会を担うエンジニアとしての応用力を習得する。	情報処理の知識を活かし、ネットワーク構築やセキュリティ強化方法、情報管理技術、情報化社会における各種法制度についての知識を習得する。
4003	情報処理Ⅲ	講義	1	後期	3	実務経験あり	大野圭一郎	パソコン機器の営業・販売経験及びSier企業による研修	開発に必要となるアルゴリズムの考え方を学び高度なプログラミング技術と実用的なセキュリティの考え方を習得する。	高度なプログラミング技術習得するために様々なアルゴリズムの考え方と実用的なセキュリティを習得する。
4010	アプリケーション開発基礎	実習	1	前期	1	実務経験あり	大野圭一郎	パソコン機器の営業・販売経験及びSier企業による研修	Microsoft365を使用した簡易的なシステム開発知識を身に着ける	Microsoft365を利用しPowerAppsやFormsなどのクラウドサービスツールを使い簡易的システムの作成方法を学習する
4020	AI活用プログラミング	実習	1	前期	1	実務経験あり	大野圭一郎	パソコン機器の営業・販売経験及びSier企業による研修	Pythonの基礎を習得する	Pythonの基礎を学ぶと同時にAIのプログラミング活用方法を学習する
4021	IoTシステム開発	実習	1	後期	2	実務経験あり	大野圭一郎	パソコン機器の営業・販売経験及びSier企業による研修	Pythonの応用を学び、Webカメラを使用したIoTのプログラミングを学習する	PythonでGUIによるシステム作成やオブジェクト指向等を学び、Webカメラを利用して顔認識システム等を作成しIoTのシステム作成を学習する
4030	業務システム開発	実習	1	後期	2	実務経験あり	大野圭一郎	パソコン機器の営業・販売経験及びSier企業による研修	Office系マクロ言語であるVBAについて学ぶ	マクロ言語VBAを利用しOffice系ソフトのマクロをプログラミング技術を用いて学習する
4040	Webデザイン	実習	2	前期	2	実務経験あり	大野圭一郎	パソコン機器の営業・販売経験及びSier企業による研修	ホームページを作成する基礎的な技術を学ぶ	HTML＆CSSを学び、Webページ製作の基礎を学ぶ。

4041	Webアプリケーション開発	実習	2	前期	6	実務経験あり	大野圭一郎	パソコン機器の営業・販売経験及びSier企業による研修	Webアプリ開発で必要な知識であるJavascriptとデータベースである、indexedDBとMongoDBを学ぶ	HTML＆CSSを学習後、Webアプリを開発するために必要なJavascriptとローカル用データベースであるIndexedDBとクラウドで利用できるMongoDBを利用できるようにする。

4044	Webプログラミング	実習		2	前期	1	実務経験あり	大野圭一郎	パソコン機器の営業・販売経験及びSier企業による研修	HTML&CSS並びにJavaScriptの基礎を学んだ後にモダンJavascriptを学び、より高度なWebアプリを作成する技術を身に着ける	アロー関数・非同期処理・コールバック関数など、モダンJavascriptの基礎知識を学ぶ
4045	アプリケーション開発応用	実習		2	前期	3	実務経験あり	大野圭一郎	パソコン機器の営業・販売経験及びSier企業による研修	グループに分かれてHTML＆CSS＆Javascriptを駆使してWebアプリを開発する	グループに分かれてテーマを決め、HTML＆CSS＆Javascriptを利用して自由にWebアプリを開発する
4050	システム設計	実習		2	前期	1	実務経験あり	大野圭一郎	パソコン機器の営業・販売経験及びSier企業による研修	チームでシステム開発を進めるための知識を身に着ける	チームでシステム開発をするための手法やツールの使い方を学ぶ
4060	データベース管理システム	実習		2	前期	1	実務経験あり	大野圭一郎	パソコン機器の営業・販売経験及びSier企業による研修	基本情報技術者で学んだデータベースの考え方やSQLを実習で確認する	データベースの考え方やSQLをデータベース管理アプリケーションを通しで実習形式で学ぶ
4070	DXソリューション	実習		2	後期	11	実務経験あり	大野圭一郎	パソコン機器の営業・販売経験及びSier企業による研修	今まで学習した内容を活用して課題解決のためのシステム等をチームで作成する	学生が企業担当者から業務課題のヒアリングを行い、これまでに習得した技術を活用して、課題解決のためのシステムまたはアプリケーションを企画・設計・開発・発表する。実務に近いプロジェクト経験を通して、技術力だけでなく、コミュニケーション・要件定義・ドキュメント作成・プレゼンテーションといったビジネススキルの向上も目的とする。
7001	ビジネスマナー基礎	実習		2	後期	1	実務経験あり	大内史彦	医療機関での医療事務実地研修経験	新社会人として求められるマナーや社会常識を実践的に学び、ビジネスマインドの定着を図る。	電話応対の実習を通して、社会人として適切な言葉遣いや対応力を身につけ、入社後の業務に備える。
7010	ビジネス応用（DX）	実習		2	前期	1	実務経験あり	大野圭一郎	パソコン機器の営業・販売経験及びSier企業による研修	Word・Excelを利用しビジネス文書作成や在庫管理表など実務的な利用方法を学ぶ	社会人として必要なビジネス文書の作成方法やExcelの実務的な利用方法の学習を行い、入社に備える。
7200	キャリアデベロップメントＡ	講義		1	前期	1	実務経験あり	早川依里	医療機関での医療事務実地研修経験	医療保険制度の概要を理解するとともに、外来診療に伴う医療請求（診療報酬）の初歩的な知識やレセプト作成技術を習得する。	主に医療保険制度の概要と初歩的な基本診療料（初診料、再診料）を取り扱い、医療業界で働くことに対する意欲の確認と自己適性を判断しやすくなるような授業を行う。
7201	キャリアデベロップメントＢ	講義		1	前期	1	実務経験あり	松永年史	会計事務所での実地研修経験	税理士試験会計科目の学習内容の理解。	税理士試験の会計科目である簿記論、財務諸表論の導入を学ぶ。

7202	キャリアデベロップメントＣ	講義	1	前期	1	実務経験あり	新村優希	一般企業での事務・経理・総務勤務経験	プレゼンテーションの基本を学び、それを基礎として初歩的なビジネス思考を理解する。	与えられた条件のもとで、自分の持つ情報・事実・考えなどを相手に分かりやすく正確に伝え、理解・納得してもらうためのプレゼンテーション技術を身につける。
7203	キャリアデベロップメントＤ	講義	1	前期	1	実務経験あり	大野圭一郎	パソコン機器の営業・販売経験及びSier企業による研修	基本情報処理の初歩を学び理解をする	進数計算、コンピュータの構成要素基礎、データベース基礎、ネットワーク基礎、アルゴリズム基礎を学び基本情報技術者試験の基礎的な内容を学ぶ

2026年度　　Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：ＤＸソリューション科		
授業科目	初級商業簿記基礎	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	早川依里 渡辺将史
授業回数	30	単　　位	2	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 簿記の重要性や基本的な知識を学び、経理を学ぶ上での基本、企業や医療機関などの経理担当者に必須の知識を短期間で身につける。簿記に対する適性も判断する。 【概要】 小規模企業を前提として、日々の取引の処理や決算手続きを学び簿記の基本を身に付け、株式会社会計の基礎を学習する。				
到達目標	簿記検定３級に合格するための最低限の能力を習得する。				
授業内容	回 01：簿記の目的 02：貸借対照表と損益計算書の作成 03：取引、仕訳、勘定口座への記入方法① 04：取引、仕訳、勘定口座への記入方法② 05：商品売買Ⅰ① 06：商品売買Ⅰ② 07：商品売買Ⅱ① 08：商品売買Ⅱ② 09：現金及び預金① 10：現金及び預金② 11：電子記録債権・債務 12：有形固定資産 13：その他の債権及び債務① 14：その他の債権及び債務② 15：その他の債権及び債務③		回 16：消費税① 17：消費税② 18：株式会社の資本① 19：株式会社の資本② 20：株式会社の資本③ 21：決算整理（売上原価算定）① 22：決算整理（売上原価算定）② 23：精算表の作成 24：英米式決算法① 25：英米式決算法② 26：決算整理（貸倒引当金） 27：決算整理（減価償却） 28：その他の決算整理① 29：その他の決算整理② 30：その他の決算整理③		
テキスト 参考文献	大原出版「日商簿記3級課程　商業簿記　テキスト」				
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。				
準備学習の 内　容	学習を終了した範囲の練習問題や補助問題を解いておき、定期試験に備えること。				

2026年度　Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校				学科名：ＤＸソリューション科	
授業科目	初級商業簿記	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	早川依里 渡辺将史
授業回数	90	単　　位	6	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 簿記の重要性や基本的な知識を学び、財務会計を学ぶ上での基本、一般企業および医療機関などの経理担当者に必須の知識を身につける。 【概要】 小規模企業を前提とし、日々の取引の処理や決算手続きを学び簿記の基本を身に付け、株式会社会計の基礎を学習する。				
到達目標	簿記検定３級に確実に合格する能力を習得する。				
授業内容	回 01：簿記の目的 02：貸借対照表作成 03：損益計算書作成 04：取引、仕訳 05：勘定口座への記入方法 06：試算表① 07：試算表② 08：３分法 09：売掛金・買掛金の記帳方法 10：返品の記帳方法 11：仕入諸掛の記帳方法 12：販売諸掛の記帳方法 13：前払金及び前受金の記帳方法 14：受取商品券の記帳方法 15：現金の記帳方法			回 16：普通預金の記帳方法 17：当座預金の記帳方法 18：複数口座の管理 19：当座借り越しが生じた場合 20：電子記録債権及び電子記録債務 21：有形固定資産と売却 22：修繕費と改造費 23：その他の債権・債務① 24：その他の債権・債務② 25：その他の債権・債務③ 26：その他の債権・債務④ 27：その他の債権・債務⑤ 28：消費税① 29：消費税② 30：消費税③	
テキスト 参考文献	大原出版「日商簿記3級課程　商業簿記　テキスト」				
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。				
準備学習の 内　容	学習を終了した範囲の練習問題や補助問題を解いておき、定期試験に備えること。				

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：ＤＸソリューション科		
授業科目	初級商業簿記	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	早川依里 渡辺将史
授業回数	90	単　　位	6	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 簿記の重要性や基本的な知識を学び、財務会計を学ぶ上での基本、一般企業および医療機関などの経理担当者に必須の知識を身につける。 【概要】 小規模企業を前提とし、日々の取引の処理や決算手続きを学び簿記の基本を身に付け、株式会社会計の基礎を学習する。				
到達目標	簿記検定３級に確実に合格する能力を習得する。				
授業内容	回 31：その他の税金の記帳方法 32：収益・費用諸勘定の記帳方法 33：訂正仕訳① 34：訂正仕訳② 35：株式会社の意義・資本、株式の発行 36：利益の計算と会計処理 37：剰余金の配当等 38：決算整理（売上原価算定）① 39：決算整理（売上原価算定）② 40：決算整理（売上原価算定）③ 41：決算整理後残高試算表① 42：決算整理後残高試算表② 43：精算表① 44：精算表② 45：精算表③	回 46：英米式決算法① 47：英米式決算法② 48：英米式決算法③ 49：決算整理（貸倒引当金の設定）① 50：決算整理（貸倒引当金の設定）② 51：決算整理（貸倒引当金の設定）③ 52：決算整理（減価償却）① 53：決算整理（減価償却）② 54：決算整理（減価償却）③ 55：有形固定資産の売却① 56：有形固定資産の売却② 57：有形固定資産の売却③ 58：決算整理（収益・費用）① 59：決算整理（収益・費用）② 60：決算整理（収益・費用）③			
テキスト 参考文献	大原出版「日商簿記3級課程　商業簿記　テキスト」				
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。				
準備学習の 内　容	学習を終了した範囲の練習問題や補助問題を解いておき、定期試験に備えること。				

2026年度　　Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校　　学科名：ＤＸソリューション科

授業科目	初級商業簿記	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	早川依里 渡辺将史
授業回数	90	単　　位	6	実務家	

授業目的 / 概　　要

【目的】

簿記の重要性や基本的な知識を学び、財務会計を学ぶ上での基本、一般企業および医療機関などの経理担当者に必須の知識を身につける。

【概要】

小規模企業を前提とし、日々の取引の処理や決算手続きを学び簿記の基本を身に付け、株式会社会計の基礎を学習する。

到達目標

簿記検定３級に確実に合格する能力を習得する。

授業内容

回	回
61：決算整理（現金過不足）①	76：商品有高帳②
62：決算整理（現金過不足）②	77：商品有高帳③
63：決算整理（現金過不足）③	78：売掛金元帳
64：決算整理（当座借越の振替）①	79：買掛金元帳
65：決算整理（当座借越の振替）②	80：現金出納帳
66：決算整理（貯蔵品）	81：当座預金出納帳
67：決算整理（消費税）①	82：小口現金出納帳①
68：決算整理（消費税）②	83：小口現金出納帳②
69：決算整理（法人税）①	84：固定資産台帳①
70：決算整理（法人税）②	85：固定資産台帳②
71：主要簿とは	86：補助簿の相関関係①
72：仕訳帳の作成	87：補助簿の相関関係②
73：総勘定元帳の作成	88：伝票
74：仕入帳及び売上帳	89：仕訳日計表①
75：商品有高帳①	90：仕訳日計表②

テキスト 参考文献

大原出版「日商簿記3級課程　商業簿記　テキスト」

成績基準

取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。

準備学習の内　容

学習を終了した範囲の練習問題や補助問題を解いておき、定期試験に備えること。

大原簿記情報医療専門学校浜松校		学科名：ＤＸソリューション科			
授業科目	初級簿記演習	授業形態	演習	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	早川依里 渡辺将史
授業回数	30	単　　位	2	実務家	

授業目的 概　　要	【目的】 簿記の重要性や基本的な知識を学び、財務会計を学ぶ上での基本、一般企業および医療機関などの経理担当者に必須の知識を身につける。 【概要】 初級商業簿記で受講した内容を前提に、検定試験形式の問題を用いた答案練習を行い、解説により内容の定着を図る。
到達目標	簿記検定３級に確実に合格する能力を習得する。
授業内容	回 01：本試験形式問題演習 02：本試験形式問題演習 03：本試験形式問題演習 04：本試験形式問題演習 05：本試験形式問題演習 06：本試験形式問題演習 07：本試験形式問題演習 08：本試験形式問題演習 09：本試験形式問題演習 10：本試験形式問題演習 11：本試験形式問題演習 12：本試験形式問題演習 13：本試験形式問題演習 14：本試験形式問題演習 15：本試験形式問題演習 回 16：本試験形式問題演習 17：本試験形式問題演習 18：本試験形式問題演習 19：解説・解き直し・類似問題解答 20：解説・解き直し・類似問題解答 21：解説・解き直し・類似問題解答 22：解説・解き直し・類似問題解答 23：解説・解き直し・類似問題解答 24：解説・解き直し・類似問題解答 25：解説・解き直し・類似問題解答 26：解説・解き直し・類似問題解答 27：解説・解き直し・類似問題解答 28：解説・解き直し・類似問題解答 29：解説・解き直し・類似問題解答 30：解説・解き直し・類似問題解答
テキスト 参考文献	大原出版「日商簿記3級課程　商業簿記　テキスト」「同・直前答案練習」「同・過去問題集」
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	正解できなかった問題についてその理由を探ると共に、類似の問題を解答することで正しい知識や計算技術の定着を図る。

2026年度　　Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校				学科名：ＤＸソリューション科	
授業科目	中級商業簿記	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	新村優希 大野圭一郎
授業回数	45	単　　位	3	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 簿記の学習を通して、「ヒト・モノ・カネ」に関する記録の技術を学び、経済の仕組みや動きの理解等の社会人としての基礎を身に付ける。 【概要】 初級学習に含まれない株式会社に関する事柄や、様々な取引に対する会計処理・計算の技術を習得する。				
到達目標	簿記検定２級に合格する能力を習得する。				
授業内容	回 01：総論 02：現金預金 03：債権債務Ⅰ 04：債権債務Ⅱ 05：棚卸資産 06：有価証券Ⅰ 07：有価証券Ⅰ 08：有価証券Ⅱ 09：有価証券Ⅱ 10：有形固定資産 11：有形固定資産 12：減価償却 13：減価償却 14：圧縮記帳 15：有形固定資産の売却等			回 16：リース会計 17：無形固定資産 18：投資その他の資産 19：債務保証等 20：引当金 21：引当金 22：収益と費用 23：収益と費用 24：為替換算会計 25：為替換算会計 26：株式会社 27：株式会社 28：企業結合・税金 29：企業結合・税金 30：企業結合・税金	
テキスト 参考文献	大原出版　日商簿記2級課程商業簿記　「テキスト」「問題集」「解答集」				
成績基準	取り組み姿勢と定期試験の結果により評価し、80%以上は「優」、60%以上は「良」、40%以上は「可」、40%未満は「不可」とする。				
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解を深めるとともに課題を見つけること。				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校				学科名：ＤＸソリューション科	
授業科目	中級商業簿記	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	新村優希 大野圭一郎
授業回数	45	単　　位	3	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 簿記の学習を通して、「ヒト・モノ・カネ」に関する記録の技術を学び、経済の仕組みや動きの理解等の社会人としての基礎を身に付ける。 【概要】 初級学習に含まれない株式会社に関する事柄や、様々な取引に対する会計処理・計算の技術を習得する。				
到達目標	簿記検定２級に合格する能力を習得する。				
授業内容	回 31：決算 32：決算 33：決算 34：本支店会計 35：本支店会計 36：連結会計Ⅰ 37：連結会計Ⅰ 38：連結会計Ⅰ 39：連結会計Ⅱ 40：連結会計Ⅱ 41：連結会計Ⅱ 42：連結会計Ⅲ 43：連結会計Ⅲ 44：連結会計Ⅲ 45：連結会計Ⅲ		回		
テキスト 参考文献	大原出版 日商簿記2級課程商業簿記　「テキスト」「問題集」「解答集」				
成績基準	取り組み姿勢と定期試験の結果により評価し、80%以上は「優」、60%以上は「良」、40%以上は「可」、40%未満は「不可」とする。				
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解を深めるとともに課題を見つけること。				

2026年度　　Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：ＤＸソリューション科		
授業科目	中級工業簿記	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	大野圭一郎 新村優希
授業回数	45	単　　位	3	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 簿記の学習を通して、「ヒト・モノ・カネ」に関する記録の技術を学び、経済の仕組みや動きの理解等の社会人としての基礎を身に付ける。 【概要】 製造業が行う原価計算の基本とその会計処理について学習する。				
到達目標	簿記検定２級に合格する能力を習得する。				
授業内容	回 01：原価計算・工業簿記の記帳体系 02：材料費会計 03：労務費会計 04：経費会計 05：製造間接費会計 06：製造間接費会計 07：製造間接費会計 08：製造間接費会計 09：製造間接費会計 10：工場会計の独立 11：工場会計の独立 12：工場会計の独立 13：単純個別原価計算 14：単純個別原価計算 15：単純個別原価計算		回 16：部門別計算 17：部門別計算 18：部門別計算 19：部門別計算 20：工企業の財務諸表 21：工企業の財務諸表 22：工企業の財務諸表 23：工企業の財務諸表 24：工企業の財務諸表 25：総合原価計算 26：総合原価計算 27：総合原価計算 28：総合原価計算 29：総合原価計算 30：標準原価計算		
テキスト 参考文献	大原出版　日商簿記2級課程工業簿記　「テキスト」「問題集」「解答集」				
成績基準	取り組み姿勢と定期試験の結果により評価し、80%以上は「優」、60%以上は「良」、40%以上は「可」、40%未満は「不可」とする。				
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解を深めるとともに課題を見つけること。				

2026年度　　Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校				学科名：ＤＸソリューション科	
授業科目	中級工業簿記	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	大野圭一郎 新村優希
授業回数	45	単　　位	3	実務家	

授業目的 概　　要	【目的】 簿記の学習を通して、「ヒト・モノ・カネ」に関する記録の技術を学び、経済の仕組みや動きの理解等の社会人としての基礎を身に付ける。 【概要】 製造業が行う原価計算の基本とその会計処理について学習する。	
到達目標	簿記検定２級に合格する能力を習得する。	
授業内容	回 31：標準原価計算 32：標準原価計算 33：標準原価計算 34：標準原価計算 35：標準原価計算 36：短期利益計画 37：短期利益計画 38：短期利益計画 39：短期利益計画 40：短期利益計画 41：直接原価計算 42：直接原価計算 43：直接原価計算 44：直接原価計算 45：直接原価計算	回
テキスト 参考文献	大原出版　日商簿記2級課程工業簿記　「テキスト」「問題集」「解答集」	
成績基準	取り組み姿勢と定期試験の結果により評価し、80%以上は「優」、60%以上は「良」、40%以上は「可」、40%未満は「不可」とする。	
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解を深めるとともに課題を見つけること。	

2026年度　　Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校		学科名：ＤＸソリューション科			
授業科目	中級簿記演習	授業形態	演習	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	新村優希 大野圭一郎
授業回数	30	単　　位	2	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 簿記の学習を通して、「ヒト・モノ・カネ」に関する記録の技術を学び、経済の仕組みや動きの理解等の社会人としての基礎を身に付ける。 【概要】 中級商業簿記Ｉと中級工業簿記Ｉで学習した内容を前提に、本試験形式の問題を使用して問題の解答に取り組み、解説で内容の定着を図る。				
到達目標	簿記検定２級に合格できる能力を身に付ける。				
授業内容	回 01：本試験形式問題演習 02：本試験形式問題演習 03：本試験形式問題演習 04：本試験形式問題演習 05：本試験形式問題演習 06：本試験形式問題演習 07：本試験形式問題演習 08：本試験形式問題演習 09：本試験形式問題演習 10：本試験形式問題演習 11：解説・解き直し・類似問題解答 12：解説・解き直し・類似問題解答 13：解説・解き直し・類似問題解答 14：解説・解き直し・類似問題解答 15：解説・解き直し・類似問題解答	回 16：解説・解き直し・類似問題解答 17：解説・解き直し・類似問題解答 18：解説・解き直し・類似問題解答 19：解説・解き直し・類似問題解答 20：解説・解き直し・類似問題解答			
テキスト 参考文献	大原出版「日商簿記2級課程商業・工業簿記テキスト」「同・直前答案練習」「同・過去問題集」				
成績基準	取り組み姿勢と定期試験の結果により評価し、80%以上は「優」、60%以上は「良」、40%以上は「可」、40%未満は「不可」とする。				
準備学習の 内　容	正解できなかった問題についてその理由を探ると共に、類似の問題を解答することで正しい知識や計算技術の定着を図る。				

2026年度　Syllabus

<table>
<tr><td colspan="4">大原簿記情報医療専門学校浜松校</td><td colspan="2">学科名：ＤＸソリューション科</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td>上級商簿会計Ⅰ</td><td>授業形態</td><td>講義</td><td>区　分</td><td>必修選択</td></tr>
<tr><td>年　　次</td><td>1</td><td>時　　期</td><td>前期</td><td>担　当</td><td>松永年史</td></tr>
<tr><td>授業回数</td><td>75</td><td>単　　位</td><td>5</td><td>実務家</td><td>実務経験あり</td></tr>
<tr><td>授業目的
概　　要</td><td colspan="5">【目的】
会計基準や会社法、財務諸表等規則などの企業会計に関する法規を踏まえて、経営管理や経営分析ができる能力を最短で身に付ける。
【概要】
企業会計に関する諸規則や法規を裏付けに日商簿記1級および全経簿記上級の最短合格のための学習をします。中級までの学習内容についてハイレベルの習熟度を要する。</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="5">簿記検定1級に合格する能力を習得。</td></tr>
<tr><td>授業内容</td><td colspan="2">回
01：有価証券、デリバティブ取引
02：有価証券、デリバティブ取引
03：有価証券、デリバティブ取引
04：有価証券、デリバティブ取引
05：ヘッジ会計、有形固定資産
06：ヘッジ会計、有形固定資産
07：ヘッジ会計、有形固定資産
08：ヘッジ会計、有形固定資産
09：割引現在価値、リース会計（基礎）
10：割引現在価値、リース会計（基礎）
11：割引現在価値、リース会計（基礎）
12：割引現在価値、リース会計（基礎）
13：ファイナンスリース取引
14：ファイナンスリース取引
15：ファイナンスリース取引</td><td colspan="3">回
16：ファイナンスリース取引
17：オペレーティングリース取引
18：オペレーティングリース取引
19：オペレーティングリース取引
20：研究開発費、ソフトウェア
21：研究開発費、ソフトウェア
22：研究開発費、ソフトウェア
23：研究開発費、ソフトウェア
24：固定資産の減損会計、繰延資産
25：固定資産の減損会計、繰延資産
26：固定資産の減損会計、繰延資産
27：固定資産の減損会計、繰延資産
28：社債、引当金
29：社債、引当金
30：社債、引当金</td></tr>
<tr><td>テキスト
参考文献</td><td colspan="5">大原出版株式会社
1級商簿会計テキスト・問題集・解答集</td></tr>
<tr><td>成績基準</td><td colspan="5">出席状況や取り組み姿勢、課題の提出状況が適切と判断される場合、授業内容に関して実施する模擬試験の得点率により次の通り評価する。80%以上は「優」、60%以上は「良」、40%以上は「可」、40%未満は「不可」とする。</td></tr>
<tr><td>準備学習の
内　容</td><td colspan="5">次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解を深めるとともに課題を見つけること</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="4">大原簿記情報医療専門学校浜松校</td><td colspan="2">学科名：ＤＸソリューション科</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td>上級商簿会計Ⅰ</td><td>授業形態</td><td>講義</td><td>区　分</td><td>必修選択</td></tr>
<tr><td>年　　次</td><td>1</td><td>時　　期</td><td>前期</td><td>担　当</td><td>松永年史</td></tr>
<tr><td>授業回数</td><td>75</td><td>単　　位</td><td>5</td><td>実務家</td><td>実務経験あり</td></tr>
<tr><td>授業目的
概　　要</td><td colspan="5">【目的】
会計基準や会社法、財務諸表等規則などの企業会計に関する法規を踏まえて、経営管理や経営分析ができる能力を最短で身に付ける。
【概要】
業会計に関する諸規則や法規を裏付けに日商簿記1級および全経簿記上級の最短合格のための学習をします。中級までの学習内容についてハイレベルの習熟度を要する。</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="5">簿記検定1級に合格する能力を習得。</td></tr>
<tr><td>授業内容</td><td colspan="2">回
31：退職給付会計、資産除去債務
32：退職給付会計、資産除去債務
33：退職給付会計、資産除去債務
34：退職給付会計、資産除去債務
35：退職給付会計、資産除去債務
36：退職給付会計、資産除去債務
37：純資産会計、税効果会計
38：純資産会計、税効果会計
39：純資産会計、税効果会計
40：純資産会計、税効果会計
41：外貨建取引、特殊商品売買
42：外貨建取引、特殊商品売買
43：外貨建取引、特殊商品売買
44：外貨建取引、特殊商品売買
45：外貨建取引、特殊商品売買</td><td colspan="3">回
46：外貨建取引、特殊商品売買
47：外貨建取引、特殊商品売買
48：外貨建取引、特殊商品売買
49：資本連結、成果連結
50：資本連結、成果連結
51：資本連結、成果連結
52：資本連結、成果連結
53：資本連結、成果連結
54：持分法、連結税効果会計
55：持分法、連結税効果会計
56：持分法、連結税効果会計
57：持分法、連結税効果会計
58：包括利益、在外子会社
59：包括利益、在外子会社
60：包括利益、在外子会社</td></tr>
<tr><td>テキスト
参考文献</td><td colspan="5">大原出版株式会社
1級商簿会計テキスト・問題集・解答集</td></tr>
<tr><td>成績基準</td><td colspan="5">出席状況や取り組み姿勢、課題の提出状況が適切と判断される場合、授業内容に関して実施する模擬試験の得点率により次の通り評価する。80%以上は「優」、60%以上は「良」、40%以上は「可」、40%未満は「不可」とする。</td></tr>
<tr><td>準備学習の
内　容</td><td colspan="5">次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解を深めるとともに課題を見つけること。</td></tr>
</table>

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校		学科名：ＤＸソリューション科			
授業科目	上級商簿会計Ⅰ	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	松永年史
授業回数	75	単　　位	5	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 会計基準や会社法、財務諸表等規則などの企業会計に関する法規を踏まえて、経営管理や経営分析ができる能力を最短で身に付ける。 【概要】 業会計に関する諸規則や法規を裏付けに日商簿記1級および全経簿記上級の最短合格のための学習をします。中級までの学習内容についてハイレベルの習熟度を要する。				
到達目標	簿記検定1級に合格する能力を習得。				
授業内容	回 61：企業結合会計、事業分離会計 62：企業結合会計、事業分離会計 63：企業結合会計、事業分離会計 64：企業結合会計、事業分離会計 65：本支店会計、キャッシュフロー計算書 66：本支店会計、キャッシュフロー計算書 67：本支店会計、キャッシュフロー計算書 68：本支店会計、キャッシュフロー計算書 69：連結キャッシュフロー計算書 70：連結キャッシュフロー計算書 71：連結キャッシュフロー計算書 72：連結キャッシュフロー計算書 73：会計上の変更及び誤謬の訂正 74：会計上の変更及び誤謬の訂正 75：会計上の変更及び誤謬の訂正	回			
テキスト 参考文献	大原出版株式会社 1級商簿会計テキスト・問題集・解答集				
成績基準	出席状況や取り組み姿勢、課題の提出状況が適切と判断される場合、授業内容に関して実施する模擬試験の得点率により次の通り評価する。80%以上は「優」、60%以上は「良」、40%以上は「可」、40%未満は「不可」とする。				
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解を深めるとともに課題を見つけること				

2026年度　Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：ＤＸソリューション科		
授業科目	上級工簿原計Ｉ	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	岡井俊文
授業回数	75	単　　位	5	実務家	

授業目的 概　　要	【目的】 財務諸表等規則や企業会計に関する法規を理解し、経営管理や経営分析ができる能力を最短で身につけます。 【概要】 中級までに学習した内容をより広く深く学習学習します。短期間での日商簿記1級等の合格を目指すため、受講にあたり中級までの学習内容についてハイレベルの習熟度を要します。
到達目標	簿記検定1級に合格する能力を習得します。
授業内容	回 01：原価計算総論、費目別計算 02：原価計算総論、費目別計算 03：原価計算総論、費目別計算 04：原価計算総論、費目別計算 05：原価計算総論、費目別計算 06：部門別計算 07：部門別計算 08：部門別計算 09：部門別計算 10：部門別計算 11：個別原価計算 12：個別原価計算 13：個別原価計算 14：個別原価計算 15：個別原価計算 回 16：総合原価計算１ 17：総合原価計算１ 18：総合原価計算１ 19：総合原価計算１ 20：総合原価計算１ 21：総合原価計算２ 22：総合原価計算２ 23：総合原価計算２ 24：総合原価計算２ 25：総合原価計算２ 26：標準原価計算 27：標準原価計算 28：標準原価計算 29：標準原価計算 30：標準原価計算
テキスト 参考文献	大原出版株式会社 日商簿記1級課程　工業簿記・原価計算　テキスト
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、８０点以上を優、７０点以上を良、６０点以上を可、５９点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解を深めるとともに課題を見つけること。

2026年度　　Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校		学科名：ＤＸソリューション科			
授業科目	上級工簿原計Ⅰ	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	岡井俊文
授業回数	75	単　　位	5	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 財務諸表等規則や企業会計に関する法規を理解し、経営管理や経営分析ができる能力を最短で身につけます。 【概要】 中級までに学習した内容をより広く深く学習学習します。短期間での日商簿記1級等の合格を目指すため、受講にあたり中級までの学習内容についてハイレベルの習熟度を要します。				
到達目標	簿記検定1級に合格する能力を習得します。				
授業内容	回 31：短期利益計画 32：短期利益計画 33：短期利益計画 34：短期利益計画 35：短期利益計画 36：直接原価計算 37：直接原価計算 38：直接原価計算 39：直接原価計算 40：直接原価計算 41：予算編成 42：予算編成 43：予算編成 44：予算編成 45：予算編成	回 46：予算統制 47：予算統制 48：予算統制 49：予算統制 50：予算統制 51：業務的意思決定１ 52：業務的意思決定１ 53：業務的意思決定１ 54：業務的意思決定１ 55：業務的意思決定１ 56：業務的意思決定２ 57：業務的意思決定２ 58：業務的意思決定２ 59：業務的意思決定２ 60：業務的意思決定２			
テキスト 参考文献	大原出版株式会社 日商簿記1級課程　工業簿記・原価計算　テキスト				
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、８０点以上を優、７０点以上を良、６０点以上を可、５９点以下を不可とする。				
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解を深めるとともに課題を見つけること。				

2026年度　　Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校		学科名：ＤＸソリューション科			
授業科目	上級工簿原計Ⅰ	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	岡井俊文
授業回数	75	単　　位	5	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 財務諸表等規則や企業会計に関する法規を理解し、経営管理や経営分析ができる能力を最短で身につけます。 【概要】 中級までに学習した内容をより広く深く学習学習します。短期間での日商簿記1級等の合格を目指すため、受講にあたり中級までの学習内容についてハイレベルの習熟度を要します。				
到達目標	簿記検定1級に合格する能力を習得します。				
授業内容	回 61：事業部制 62：事業部制 63：事業部制 64：事業部制 65：事業部制 66：戦略的原価計算 67：戦略的原価計算 68：戦略的原価計算 69：戦略的原価計算 70：戦略的原価計算 71：総合問題対策 72：総合問題対策 73：総合問題対策 74：総合問題対策 75：総合問題対策	回			
テキスト 参考文献	大原出版株式会社 日商簿記1級課程　工業簿記・原価計算　テキスト				
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、８０点以上を優、７０点以上を良、６０点以上を可、５９点以下を不可とする。				
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解を深めるとともに課題を見つけること。				

2026年度　Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校				学科名：ＤＸソリューション科	
授業科目	上級簿記演習	授業形態	演習	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	岡井俊文 松永年史
授業回数	30	単　　位	2	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 簿記の学習を通して、「ヒト・モノ・カネ」に関する記録の技術を学び、経済の仕組みや動きの理解等の社会人としての基礎を身に付ける。 【概要】 上級工簿原計Ｉで学習した内容を前提に、本試験形式の問題を使用して問題の解答に取り組み、解説で内容の定着を図る。				
到達目標	簿記検定1級に合格する能力を習得。				
授業内容	回 01：第１回日商簿記１級対策模試 02：第１回日商簿記１級対策模試 03：第１回日商簿記１級対策模試 04：第１回日商簿記１級対策模試 05：第１回日商簿記１級対策模試 06：第１回日商簿記１級対策模試 07：第１回日商簿記１級対策模試 08：第１回日商簿記１級対策模試 09：第２回日商簿記１級対策模試 10：第２回日商簿記１級対策模試 11：第２回日商簿記１級対策模試 12：第２回日商簿記１級対策模試 13：第２回日商簿記１級対策模試 14：第２回日商簿記１級対策模試 15：第２回日商簿記１級対策模試			回 16：第２回日商簿記１級対策模試 17：第３回日商簿記１級対策模試 18：第３回日商簿記１級対策模試 19：第３回日商簿記１級対策模試 20：第３回日商簿記１級対策模試 21：第３回日商簿記１級対策模試 22：第３回日商簿記１級対策模試 23：第３回日商簿記１級対策模試 24：第３回日商簿記１級対策模試 25：第４回日商簿記１級対策模試 26：第４回日商簿記１級対策模試 27：第４回日商簿記１級対策模試 28：第４回日商簿記１級対策模試 29：第４回日商簿記１級対策模試 30：第４回日商簿記１級対策模試	
テキスト 参考文献	大原出版株式会社 日商簿記1級対策模擬試験				
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、８０点以上を優、７０点以上を良、６０点以上を可、５９点以下を不可とする。				
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解を深めるとともに課題を見つけること。				

2026年度　　Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校　　学科名：ＤＸソリューション科

授業科目	上級簿記演習	授業形態	演習	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	岡井俊文 松永年史
授業回数	30	単　　位	2	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 簿記の学習を通して、「ヒト・モノ・カネ」に関する記録の技術を学び、経済の仕組みや動きの理解等の社会人としての基礎を身に付ける。 【概要】 上級工簿原計Ⅰで学習した内容を前提に、本試験形式の問題を使用して問題の解答に取り組み、解説で内容の定着を図る。				
到達目標	簿記検定1級に合格する能力を習得。				
授業内容	回 31：第４回日商簿記１級対策模試 32：第４回日商簿記１級対策模試 33：第５回日商簿記１級対策模試 34：第５回日商簿記１級対策模試 35：第５回日商簿記１級対策模試 36：第５回日商簿記１級対策模試 37：第５回日商簿記１級対策模試 38：第５回日商簿記１級対策模試 39：第５回日商簿記１級対策模試 40：第５回日商簿記１級対策模試 41：第６回日商簿記１級対策模試 42：第６回日商簿記１級対策模試 43：第６回日商簿記１級対策模試 44：第６回日商簿記１級対策模試 45：第６回日商簿記１級対策模試	回 46：第６回日商簿記１級対策模試 47：第６回日商簿記１級対策模試 48：第６回日商簿記１級対策模試 49：日商簿記１級対策公開模試 50：日商簿記１級対策公開模試 51：日商簿記１級対策公開模試 52：日商簿記１級対策公開模試 53：日商簿記１級対策公開模試 54：日商簿記１級対策公開模試 55：日商簿記１級対策公開模試 56：日商簿記１級対策公開模試 57：日商簿記１級対策最終確認 58：日商簿記１級対策最終確認 59：日商簿記１級対策最終確認 60：日商簿記１級対策最終確認			
テキスト 参考文献	大原出版株式会社 日商簿記1級対策模擬試験				
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、８０点以上を優、７０点以上を良、６０点以上を可、５９点以下を不可とする。				
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解を深めるとともに課題を見つけること。				

2026年度　　Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校				学科名：ＤＸソリューション科	
授業科目	PC入門	授業形態	講義	区　分	必修
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	大野圭一郎 新村優希
授業回数	8	単　　位	1	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 企業実務に正確かつ迅速に対応できるよう、表計算ソフトの基本的な操作スキルを習得する。 【概要】 ビジネスアプリケーションソフトを中心にオペレーティングおよび表計算技術を習得する。				
到達目標	Excelの基本的な機能を活用し、Exce文書処理技能検定3級を受験できる水準の能力を習得する。				
授業内容	回 01：ガイダンス～Windowsの基礎 02：アプリの基本操作～フォルダの作成・削除 03：Excelの概要～画面構成 04：データ入力の基礎 05：基本的なワークシートの編集と書式設定 06：グラフの作成と設定の変更 07：実技練習問題 08：実技模擬問題			回	
テキスト 参考文献	実教出版「30時間でマスターExcel」 サーティファイ「Excel表計算処理技能認定試験 問題集」				
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。				
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解を深めるとともに課題を見つけること。				

2026年度　　　　　　　　　　Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校		学科名：ＤＸソリューション科			
授業科目	PC対策Ⅰ(表計算)	授業形態	講義	区　分	必修
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	大野圭一郎 新村優希
授業回数	15	単　　位	2	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 表計算ソフトを用いてビジネス社会における簡単なワークシートの作成とデータの入力を行うとともに、表計算、ビジネス図表に関する応用的な技能を向上させる。 【概要】 ビジネスアプリケーションソフトを中心にオペレーティングおよび表計算技術を習得する。				
到達目標	Excelの基本的な関数や機能を活用して、Excel表計算技能検定3級に合格できるレベルの能力を習得する。				
授業内容	回 01：ガイダンス～オートフィル 02：行・列の削除・挿入・移動～セルの参照 03：オートカルク～ROUND関数等 04：IF関数とネスト 05：条件付き書式、スパークライン 06：各種のグラフ 07：各種のグラフ 08：データベース入門 09：Excelの応用 10：実技練習問題 11：実技練習問題 12：実技練習問題 13：実技模擬試験 14：実技模擬試験 15：実技模擬試験			回	
テキスト 参考文献	実教出版「30時間でマスターExcel」 サーティファイ「Excel表計算処理技能認定試験 問題集」				
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。				
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解を深めるとともに課題を見つけること。				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校		学科名：ＤＸソリューション科			
授業科目	PC対策Ⅱ（表計算）	授業形態	講義	区　分	必修
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	大野圭一郎 榊原大介
授業回数	15	単　　位	2	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 表計算ソフトを用いて効率的なデータ入力、集計、グラフ作成ができる能力を身に付けるとともに、表計算、ビジネス図表に関する高度な技能を向上させる。 【概要】 Excelのピボットテーブルなどの高度な機能の活用や、関数を組み合わせた数式、複合グラフの作成やマクロの活用などを駆使した効率的なデータ入力や集計、分析技法を習得する。				
到達目標	Excelの応用的な関数や機能を活用して、Excel表計算処理技能認定試験2級に合格できるレベルの技術を習得する。				
授業内容	回 01：条件付き書式・入力規則 02：高度な関数 03：オブジェクトの活用 04：実技練習問題 05：実技練習問題 06：実技練習問題 07：実技練習問題 08：実技練習問題 09：実技練習問題 10：実技練習問題 11：実技練習問題 12：実技練習問題 13：実技模擬試験 14：実技模擬試験 15：実技模擬試験	回			
テキスト 参考文献	実教出版「30時間でマスターExcel」 サーティファイ「Excel表計算処理技能認定試験 問題集」				
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。				
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解を深めるとともに課題を見つけること。				

2026年度　　Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校				学科名：ＤＸソリューション科	
授業科目	就職対策(共通)	授業形態	講義	区　分	必修
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	早川依里 新村優希
授業回数	8	単　　位	1	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 職場の基礎力を養うための基礎知識や考え方について理解・習得させ、自分流計画シートを活用した自己管理力やグループワーク等を通じた協調行動力を養う。 【概要】 職場の基礎力を養うための基礎知識や考え方について説明するとともに、自分流計画シートの作成指導やグループワークを取り入れた授業を行う。				
到達目標	自分流計画シートを活用して基本的な自己管理力を高めるとともに、成果を出すための集団の一員として必要な協調性のある行動を行うことができる。				
授業内容	回 01：職場検定ガイダンス 02：職場で通用する身だしなみと立ち居振舞い 03：スケジュール管理の重要性と方法 04：自分流計画シートの作成 05：手帳記入と自己評価 06：組織としての協調性の重要性 07：クラス目標の話し合いと決定 08：組織の基礎知識			回	
テキスト 参考文献	大原学園「トライアングル手帳」、大原学園「協調行動力テキスト」				
成績基準	取組姿勢、自己管理力検定と協調行動力検定の結果を総合的に点数化し、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。				
準備学習の 内　容	自分流計画シートの作成とクラス目標について考えておく。また、職場検定に関する知識を復習しておくこと。				

2026年度　　Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校			学科名：ＤＸソリューション科		
授業科目	就職対策Ⅰ(DX)	授業形態	講義	区　分	必修
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	大野圭一郎
授業回数	8	単　　位	1	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 学生にとっての幸せな就職を実現させることを最終目的とし、そのために必要な基本的就職支援を行うこと。 【概要】 就職後に必要となる基本的なIT活用力や海外行動力を高めるための講義を行うとともに、グループワークを取り入れたコミュニケーション能力向上を目指す。				
到達目標	社会人として最低限必要なIT活用力や海外行動力を身に付けるとともに、社会で通用するコミュニケーション能力が一定程度まで向上すること。				
授業内容	回 01：基本的なIT活用力の向上研修 02：基本的な海外行動力向上研修① 03：コミュニケーション能力向上研修（富士宮①） 04：コミュニケーション能力向上研修（富士宮②） 05：コミュニケーション能力向上研修（富士宮③） 06：コミュニケーション能力向上研修（富士宮④） 07：内定した先輩からの就活情報収集① 08：内定した先輩からの就活情報収集②			回	
テキスト 参考文献	大原学園「IT活用力テキスト」「海外行動力テキスト」「就職ガイドブック」				
成績基準	取組姿勢や職場検定結果、レポートにより総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。				
準備学習の 内　容	職場検定対策の知識を復習して職場検定試験に備えるとともに、授業内の各研修内容に基づいたテーマについて考察しておくこと。				

2026年度　Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校				学科名：ＤＸソリューション科	
授業科目	就職対策Ⅱ（DX）	授業形態	講義	区　分	必修
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	大野圭一郎
授業回数	30	単　　位	4	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 就職活動を円滑にかつ効率的に進めることを目的とする。また人生設計の礎をしっかり根付かせることで、自分で考え、行動し、決断できる学生の育成を目指す。 【概要】 将来の職業意識を高め、就職試験対策として必要な基礎知識習得や自己分析等の受験準備指導を、集団形式・個別形式を交えて行う。				
到達目標	社会に認められる（内定獲得）ことで、学生から社会人（子供から大人）への精神的な成長を実感させる。				
授業内容	回 01：就職に対する心構え 02：自己管理と協調行動に基づく実践 03：グループワーク（他者との関わり方①） 04：グループワーク（他者との関わり方Ⅱ） 05：報告連絡相談の必要性と重要性 06：報告連絡相談の必要性と重要性 07：就職活動における身だしなみ 08：就職活動における身だしなみ 09：就職活動における身だしなみ 10：就職活動における身だしなみ 11：仕事選びと企業選びの基礎知識 12：仕事選びと企業選びの基礎知識 13：仕事選びと企業選びの基礎知識 14：自己分析と自己PR文の作成 15：自己分析と自己PR文の作成	回 16：自己分析と自己PR文の作成 17：自己分析と自己PR文の作成 18：企業アクセス方法の確立 19：企業アクセス方法の確立 20：就職活動で必要な応募書類の準備と作成 21：就職活動で必要な応募書類の準備と作成 22：就職活動で必要な応募書類の準備と作成 23：就職活動で必要な応募書類の準備と作成 24：就職活動で必要な応募書類の準備と作成 25：就職活動で必要な応募書類の準備と作成 26：就職活動で必要な応募書類の準備と作成 27：就職活動で必要な応募書類の準備と作成 28：就職活動で必要な応募書類の準備と作成 29：就職活動で必要な応募書類の準備と作成 30：就職活動で必要な応募書類の準備と作成			
テキスト 参考文献	大原学園「就職ガイドブック」「就職ノートブック」				
成績基準	出席状況や取り組み姿勢、課題の提出状況に関する評価を行うとともに、必要に応じて授業内容に基づいた習熟度合いの測定を行い、次の通り総合評価する。総合評価Ａは「優」、総合評価Ｂは「良」、総合評価Ｃは「可」、総合評価Ｄは「不可」とする。				
準備学習の 内　容	放課後における自主的面接練習、履歴書を含む就職関連書類の早期作成を意識し、自己計画・自己管理の元、取り組む。				

大原簿記情報医療専門学校浜松校				学科名：ＤＸソリューション科	
授業科目	情報処理Ⅰ	授業形態	講義	区　分	必修
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	大野圭一郎
授業回数	15	単　　位	1	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 高度ＩＴ社会に対応したＩＴ基礎力の養成を目的とする。 【概要】 ２進数やコンピュータの構造を理解し、情報処理に関する基礎知識を学習する。				
到達目標	基礎ＩＴ用語の理解、コンピュータの構成を理解する。				
授業内容	回 01～08：基礎理論（離散数学・応用数学） 09～15：コンピュータ構成要素			回	
テキスト 参考文献	大原出版「基本情報技術者 午前対策テキスト」「基本情報技術者 午後対策アルゴリズム テキスト＆ドリル」				
成績基準	出席状況や取り組み姿勢、課題の提出状況が適切と判断される場合、授業内容に関して実施する模擬試験の得点率により次の通り評価する。80%以上は「優」、60%以上は「良」、40%以上は「可」、40%未満は「不可」とする。				
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解しておくこと。				

2026年度　Syllabus

<table>
<tr><td colspan="4">大原簿記情報医療専門学校浜松校</td><td colspan="2">学科名：ＤＸソリューション科</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td>情報処理Ⅱ</td><td>授業形態</td><td>講義</td><td>区　分</td><td>必修</td></tr>
<tr><td>年　　次</td><td>1</td><td>時　　期</td><td>後期</td><td>担　当</td><td>大野圭一郎</td></tr>
<tr><td>授業回数</td><td>90</td><td>単　　位</td><td>6</td><td>実務家</td><td>実務経験あり</td></tr>
<tr><td>授業目的

概　　要</td><td colspan="5">【目的】
ＩＴ基礎で学んだ知識を基に、高度なプログラミング技術と情報化社会に対応する各種法制度の知識を習得し、高度ＩＴ社会を担うエンジニアとしての応用力を習得する。
【概要】
情報処理の知識を活かし、ネットワーク構築やセキュリティ強化方法、情報管理技術、情報化社会における各種法制度についての知識を習得する。</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="5">ＩＴ専門用語の理解とともにＩＴ活用能力を有し、基本情報技術者試験の合格レベルを目標とする。</td></tr>
<tr><td>授業内容</td><td colspan="3">回
01:システムの構成要素
02～07:・ソフトウエア・ハードウエア
08:ヒューマンインタフェース・マルチメディア
09～20:データベース
21～32:ネットワーク
33～42:セキュリティ
42～45:システム/ソフトウエア開発技術
46～49:プロジェクトマネジメント・サービスマネジメント
50～53:システム戦略・システム企画
54～57:経営戦略・技術戦略マネジメント
58～61:ビジネスインダストリ・企業活動
62～65:法務
66～90:直前答練</td><td colspan="2">回</td></tr>
<tr><td>テキスト
参考文献</td><td colspan="5">大原出版「基本情報技術者 午前対策テキスト」「同・午後対策テキスト」　等</td></tr>
<tr><td>成績基準</td><td colspan="5">出席状況や取り組み姿勢、課題の提出状況が適切と判断される場合、授業内容に関して実施する模擬試験の得点率により次の通り評価する。80%以上は「優」、60%以上は「良」、40%以上は「可」、40%未満は「不可」とする。</td></tr>
<tr><td>準備学習の
内　容</td><td colspan="5">次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解しておくこと。</td></tr>
</table>

2026年度　Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校		学科名：ＤＸソリューション科			
授業科目	情報処理Ⅲ	授業形態	講義	区　分	必修
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	大野圭一郎
授業回数	53	単　　位	3	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 開発に必要となるアルゴリズムの考え方を学び高度なプログラミング技術と実用的なセキュリティの考え方を習得する。 【概要】 高度なプログラミング技術習得するために様々なアルゴリズムの考え方と実用的なセキュリティを習得する。				
到達目標	アルゴリズムとセキュリティを学び、基本情報技術者試験の合格レベルを目標とする。				
授業内容	回 01～04：アルゴリズムの表現方法 04～08：データ構造とアルゴリズム① 09～12：代表的なアルゴリズム① 13～20：データ構造とアルゴリズム② 21～28：代表的なアルゴリズム② 29～36：練習問題 36～53：直前答練		回		
テキスト 参考文献	大原出版「基本情報技術者　科目Bアルゴリズム　テキスト＆ドリル」 大原出版「基本情報技術者　科目Bトレーニング問題集」				
成績基準	出席状況や取り組み姿勢、課題の提出状況が適切と判断される場合、授業内容に関して実施する模擬試験の得点率により次の通り評価する。80%以上は「優」、60%以上は「良」、40%以上は「可」、40%未満は「不可」とする。				
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解しておくこと。				

2026年度　　Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校				学科名：ＤＸソリューション科	
授業科目	アプリケーション開発基礎	授業形態	実習	区　分	必修
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	大野圭一郎
授業回数	15	単　　位	1	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 Microsoft365を使用した簡易的なシステム開発知識を身に着ける 【概要】 Microsoft365を利用しPowerAppsやFormsなどのクラウドサービスツールを使い簡易的システムの作成方法を学習する				
到達目標	ローコード開発技術やクラウドサービスツールを利用したツールの利用方法を身に着ける				
授業内容	回 01～03：各種M365ツールの利用方法 04～05：Formsの利用方法 06～15：PowerAppsを利用したローコード開発			回	
テキスト 参考文献	内製テキスト				
成績基準	効果測定を実施し、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。				
準備学習の 内　容	次回の授業までにテキストを使用し、学習範囲内の例題を確認し理解しておくこと。				

2026年度　　Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校				学科名：ＤＸソリューション科	
授業科目	AI活用プログラミング	授業形態	実習	区　分	必修
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	大野圭一郎
授業回数	15	単　　位	1	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 Pythonの基礎を習得する 【概要】 Pythonの基礎を学ぶと同時にAIのプログラミング活用方法を学習する				
到達目標	PythonとAIを活用し簡単なアプリケーションを作成できるようになる				
授業内容	回 01：Pythonのインストール 02～03：Pythonの基礎1（簡単なプログラミング） 04～06：Pythonの基礎2（変数・リスト・条件分岐） 07～08：関数 09～10：importについて 11：AIの活用方法 12～15：CUIでゲームを作る		回		
テキスト 参考文献	ソーテック「Pythonでつくるゲーム開発入門講座」				
成績基準	効果測定を実施し、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。				
準備学習の 内　容	次回の授業までにテキストを使用し、学習範囲内の例題を確認し理解しておくこと。				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校				学科名：ＤＸソリューション科	
授業科目	IoTシステム開発	授業形態	実習	区　分	必修
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	大野圭一郎
授業回数	30	単　　位	2	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 Pythonの応用を学び、Webカメラを使用したIoTのプログラミングを学習する 【概要】 PythonでGUIによるシステム作成やオブジェクト指向等を学び、Webカメラを利用して顔認識システム等を作成しIoTのシステム作成を学習する				
到達目標	Pythonを通してオブジェクト指向言語の基礎を学び、応用的なシステム作成ができる				
授業内容	回 01～02：GUIの基礎① 03～06：GUIの基礎② 07～14：ゲーム作成プログラミング 15～17：オブジェクト指向プログラミング 18～19：WebカメラによるIoTプログラミング 20～29：製作実習 30：発表			回	
テキスト 参考文献	ソーテック「Pythonでつくるゲーム開発入門講座」				
成績基準	効果測定を実施し、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。				
準備学習の 内　容	次回の授業までにテキストを使用し、学習範囲内の例題を確認し理解しておくこと。				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校				学科名：ＤＸソリューション科	
授業科目	業務システム開発	授業形態	実習	区　分	必修
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	大野圭一郎
授業回数	30	単　　位	2	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 Office系マクロ言語であるVBAについて学ぶ 【概要】 マクロ言語VBAを利用しOffice系ソフトのマクロをプログラミング技術を用いて学習する				
到達目標	VBAを利用してOffice系ソフトをより便利に利用できる技術を身に着ける				
授業内容	回 01～03:ExcelVBA基礎 04～06:条件分岐 07～09:繰り返し文 10～12:条件分岐 13～18:オブジェクト・メソッド・プロパティ 19～21:他のブックを操作する 22～30：実習			回	
テキスト 参考文献	インプレス「すらすら読めるExcelVBAふりがなプログラミング」				
成績基準	確認テストを実施し、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。				
準備学習の 内　容	次回の授業までにテキストを使用し、学習範囲内の例題を確認し理解しておくこと。				

2026年度　　Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校				学科名：ＤＸソリューション科	
授業科目	キャリアデベロップメントＡ	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	早川依里 岡井俊文
授業回数	10	単　　位	1	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 医療保険制度の概要を理解するとともに、外来診療に伴う医療請求（診療報酬）の初歩的な知識やレセプト作成技術を習得する。 【概要】 主に医療保険制度の概要と初歩的な基本診療料（初診料、再診料）を取り扱い、医療業界で働くことに対する意欲の確認と自己適性を判断しやすくなるような授業を行う。				
到達目標	医療保険制度の概要と初歩的な基本診療料に関する知識やレセプト作成技術を身に付ける。				
授業内容	回 01：医療保険制度① 02：医療保険制度② 03：初診料① 04：初診料② 05：初診料③ 06：再診料① 07：再診料② 08：再診料③ 09：問題演習（復習） 10：問題演習（復習）			回	
テキスト 参考文献	医学通信社「診療報酬点数早見表」 大原出版株式会社「医療請求事務テキスト」				
成績基準	定期試験の結果に基づき評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。				
準備学習の 内　容	終了した授業範囲の内容を理解できるようテキストを見返すと同時に、練習問題を解き、次回の授業に備えること。				

2026年度　　　　　　　　　　　　Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校		学科名：ＤＸソリューション科			
授業科目	キャリアデベロップメントＢ	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	松永年史 渡辺将史
授業回数	10	単　　位	1	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 税理士試験会計科目の学習内容の理解。 【概要】 税理士試験の会計科目である簿記論、財務諸表論の導入を学ぶ。				
到達目標	会計科目の学習に向けて、初歩的な計算力と理論を身に付ける。				
授業内容	回 01：簿記論基礎問題 02：簿記論基礎問題 03：簿記論基礎問題 04：簿記論基礎問題 05：財務諸表論概論 06：財務諸表論概論 07：財務諸表論概論 08：財務諸表論理論 09：財務諸表論理論 10：財務諸表論理論	回			
テキスト 参考文献	大原学園「簿記論」「財務諸表論」				
成績基準	定期試験の結果に基づき評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。				
準備学習の 内　容	終了した授業範囲の内容を理解できるようテキストを見返すと同時に、練習問題を解き、次回の授業に備えること。				

2026年度　Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校				学科名：ＤＸソリューション科	
授業科目	キャリアデベロップメントＣ	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	新村優希 榊原大介
授業回数	10	単　　位	1	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 プレゼンテーションの基本を学び、それを基礎として初歩的なビジネス思考を理解する。 【概要】 与えられた条件のもとで、自分の持つ情報・事実・考えなどを相手に分かりやすく正確に伝え、理解・納得してもらうためのプレゼンテーション技術を身につける。				
到達目標	視覚資料を作成し、それを用いて実際にプレゼンテーションを実施できるようになる。				
授業内容	回 01：プレゼンテーションの概要 02：ストーリーづくり① 03：ストーリーづくり② 04：視覚資料の作成 05：視覚資料の作成 06：リハーサルによる確認① 07：リハーサルによる確認② 08：プレゼンテーションの実施 09：プレゼンテーションの実施 10：プレゼンテーションの振り返り	回			
テキスト 参考文献	実教出版「30時間でマスター　プレゼンテーション+PowerPoint」				
成績基準	定期試験の結果に基づき評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。				
準備学習の 内　容	終了した授業範囲の内容を理解できるようテキストを見返すと同時に、練習問題を解き、次回の授業に備えること。				

2026年度　Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校		学科名：ＤＸソリューション科			
授業科目	キャリアデベロップメントＤ	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	大野圭一郎
授業回数	10	単　　位	1	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 基本情報処理の初歩を学び理解をする 【概要】 進数計算、コンピュータの構成要素基礎、データベース基礎、ネットワーク基礎、アルゴリズム基礎を学び基本情報技術者試験の基礎的な内容を学ぶ				
到達目標	基本情報技術者の初歩的な内容を学び、理解をする。				
授業内容	回 01：進数計算 02：コンピュータの構成要素 03：データベース正規化 04：IPアドレス 07～10：基礎的なアルゴリズム		回		
テキスト 参考文献	大原出版「基本情報技術者テキスト」				
成績基準	確認テストの結果に基づき評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。				
準備学習の 内　容	終了した授業範囲の内容を理解できるようテキストを見返すと同時に、練習問題を解き、次回の授業に備えること。				